



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2015年(平成27年)4月15日号 No.1658

目次

■ 2014年のNIS諸国の経済(上)	1
■ 統計速報	11
2015年1～3月のロシアのブランド別乗用車販売台数／11	
■ モスクワほっとニュース	12
2015年の復活祭 in モスクワ／12	
■ キーパーソン	14
ウズベキスタンでカリモフ大統領再選／14	
■ エトセラ	15
ROTOBO月例報告会「ロシア農業の軌跡と現段階」／15	
■ トピックス	15
日本製住宅をロシアで販売／15	
石狩・東海・ウラジオストクの定期国際航路計画／15	

2014年のNIS諸国の経済(上)

はじめに

『経済速報』では毎年この時期、前年のNIS諸国(旧ソ連の新独立諸国)の経済統計を紹介し、各国の最新の経済動向について論評するという企画をお届けしている。本年も2014年のデータがほぼ出揃ったので、早速それを試みたい。

まず今号では、全12カ国の主要経済指標を表にまとめて掲載するとともに、NIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説をお届けする。中央アジア諸国(カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン)および南コーカサス諸国(アゼルバイジャン、アルメニア、ジョージア)のレビューは次号で扱う予定である。各国レビューの執筆は、当会ロシアNIS経済研究所のスタッフによるものであるが、ロシアについては本年も北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターの田畑伸一郎教授にとくにご寄稿いただいた。

NIS全般： 経済変調と分裂・統合

分裂と統合の動き 2014年は、ウクライナ問題に終始し、同国東部での戦闘状態が続き、ロシアとウクライナおよび先進諸国との対立が鮮明化した。2014年5月には、ロシア、カザフスタン、ベラルーシがユーラシア経済連合条約に調印し、他方、6月には、ウクライナ、ジョージア、モルドバがEUと